

平成 28 年 4 月 25 日（月）に山口大学教育学部教授、学生特別支援室顧問の木谷秀勝氏を講師に迎え、FD・SD 研修会を開催しました。

木谷氏の講演では、高機能 ASD（高機能自閉症スペクトラム症）の自己肯定感が高まるよう一人ひとりの得意な分野を活かした支援をすることによって見られた成長の様子が紹介されました。

高機能 ASD の学生の多くは、困っていることをうまく伝えることが苦手で、大学の講義のほかに日常生活の中でも心身の疲労が強く、自分の限界に気づくことも難しいため、健康を維持できないでいることにも触れられました。さらに、大学時代に医師や看護師と連携し、心身の健康状態を丁寧に診断してもらいながら、頑張るばかりでなくリラクゼーション（休憩）することも身につけ、コントロールできるようになれば、将来の就労維持にもつながると強調されました。

本学でも発達障害のある学生は増加傾向にあります。障害者差別解消法や先に示された職員対応要領に基づき、より充実した支援が展開できるよう関係部署間の連携の深化、および支援に関する情報提供を進めていきます。

サポートルーム（障害学生支援室） 室長 土岐邦彦



講演される木谷秀勝教授



会場いっぱいの受講者